

研究課題名: 第二回 本邦における気胸治療の実態調査: 多施設共同後方視的研究

研究責任者: 澤端 章好

日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会委員長

澤端 章好

川西市総合医療センター 呼吸器外科

〒666-0017 兵庫県川西市火打1丁目4番1号

TEL: 0570-01-8199

E-mail: nsawabata@hotmail.com

研究代表者: 澤端 章好

日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会委員長

澤端 章好

川西市総合医療センター 呼吸器外科

〒666-0017 兵庫県川西市火打1丁目4番1号

TEL: 0570-01-8199

E-mail: nsawabata@hotmail.com

事務局: 井貝 仁

前橋赤十字病院 呼吸器外科

〒371-0811 群馬県前橋市朝倉町389番地1

TEL: 027-265-3333

FAX: 027-225-5250

E-mail: hitoshiigai@gmail.com

東 陽子

東邦大学医学部外科学講座呼吸器外科学分野

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

TEL: 03-3762-4151

研究分担者: 井貝 仁

前橋赤十字病院 呼吸器外科

東陽子

東邦大学医学部外科学講座呼吸器外科学分野

大淵俊朗

鎌ヶ谷総合病院呼吸器外科

吉井直子

聖隷三方原病院呼吸器外科

谷村和哉

奈良県立医科大学呼吸器アレルギー内科

深井隆太

湘南鎌倉総合病院呼吸器外科

研究代表機関名: 川西市総合医療センター 呼吸器外科

研究分担機関: 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会会員所属施設

研究期間: 承認日～2027年3月31日まで

研究目的:

呼吸器領域において、原発性自然気胸、続発性自然気胸は遭遇する頻度が多い疾患である。しかしながら、その治療内容は施設毎によって異なり、各々の病態に応じた適切な治療法が確立されているとは言い難い。この理由の一つとして、気胸に対する診療の実態が不明確であることが挙げられる。

日本気胸・嚢胞性肺疾患学会では以上のような状況を鑑み、ガイドラインや臨床研究のコントロールに役立つデータベースを構築する必要性を認識しており、学術委員会を中心に 2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の間に入院症例の原発性自然気胸、続発性自然気胸の実態調査を施行した。

今回、上記実態調査から 5 年が経過し、改めて本邦の気胸治療の実態を把握する必要があると考え、今回の研究を立案した。

研究対象:

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に気胸と診断され、入院加療が施行された患者、もしくは他疾患で入院中の場合は同一入院期間内に気胸に対する加療が施行された患者。ただし、入院日が上記期間内であれば、加療による転帰日は 2025 年 4 月 1 日以降に及んでいても構わない。また、総入院日数に関しては、他疾患に対する治療期間も含むものとする。

研究方法

気胸入院症例を対象とし、その患者背景、疾患、治療法、退院時転帰の実態を調査し、退院時転帰に影響を与えた因子を明らかにする。

研究機関への情報提供の方法: 電子症例報告書(eCRF)及びマネジメントツールとして電子メールを用いデータ収集を行う

問合せ先: 井貝 仁

前橋赤十字病院呼吸器外科

〒371-0811 前橋市朝倉町 389 番地 1

TEL:027-265-3333 (内線: 7551) FAX:027-225-52

飛野 和則

飯塚病院 呼吸器内科

〒820-8505 飯塚市芳雄町 3 番 83 号

TEL:0948-22-3800 (代表)